

科目名	インド哲学					単位	2.0
担当教員	遠藤 康						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5304

●授業のテーマ

古代インド思想の展開と正統派ヒンドゥー哲学諸派の思想

●到達目標

インド正統派哲学の思想的根源と諸学派の特質を説明できるようになる。

●学習内容(授業概要)

インドの伝統的哲学思想は、西洋哲学と同様に人間と世界とを考究の主題としながらも、インド古代の宗教思想の継承を前提とするために独特の体系を発達させて来た。本講義では、インドにおける哲学の誕生と発展、正統派ヒンドゥー哲学諸学派の思想を概観し、インド思想の特質を探ってみたい。

●学習内容(授業計画)

1. イントロダクション
2. インダス文明：古代文明に哲学はあったか
3. ヴェーダの宗教思想：インド哲学の始原
4. ウパニシャッドの思想：梵我一如
5. 自由思想家達の思想
6. インド哲学の正統と異端
7. ニヤーヤ派の思想：知識根拠説と論理学
8. ヴァイシェシカ派の思想：実在論と範疇論
9. サーンキヤ派の思想：二元論
10. ヨーガ派の思想：実践的二元論
11. 不二一元論ヴェーダーンタ派の思想 1：精神の一元論
12. 不二一元論ヴェーダーンタ派の思想 2：世界に関する二種の見地
13. 有神論ヴェーダーンタ思想：被限定者不二一元論
14. ミーマンサー派の思想：祭事哲学
15. まとめと復習

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業のテーマごとに予め教科書を読み下調べをすること。

事後学習：毎回の授業のポイントを必ず復習確認しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点 30%、学期末試験 70%を基本として総合的に評価する。平常点には授業受講態度の評価も含んでおり、居眠り等は減点対象とする。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『ヒンドゥー教：インドという<謎>』（講談社選書メチエ 299）、著者名：山下博司、出

版社：講談社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意
毎授業時に資料を配布し、ノートとして使用する予定である。ノートはしっかりと整理しておくこと。